

イーストスプリング・ アジア・オセアニア 公益インフラ債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)

(毎月決算型)

第5期末(2015年11月20日)	
基準価額	9,933円
純資産総額	496百万円
第1期～第5期 (2015年6月16日～2015年11月20日)	
騰落率	△0.7%
分配金合計	0円

(年2回決算型)

第1期末(2015年11月20日)	
基準価額	9,934円
純資産総額	714百万円
(2015年6月16日～2015年11月20日)	
騰落率	△0.7%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

追加型投信 / 海外 / 債券

(毎月決算型)

第1期(決算日2015年7月21日) 第4期(決算日2015年10月20日)
第2期(決算日2015年8月20日) 第5期(決算日2015年11月20日)
第3期(決算日2015年9月24日)

(年2回決算型)

第1期(決算日2015年11月20日)

作成対象期間(2015年6月16日～2015年11月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)」は、2015年11月20日に決算を行いました。当ファンドは、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の公益およびインフラ関連の債券に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
[お問い合わせ先]

電話番号: 03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

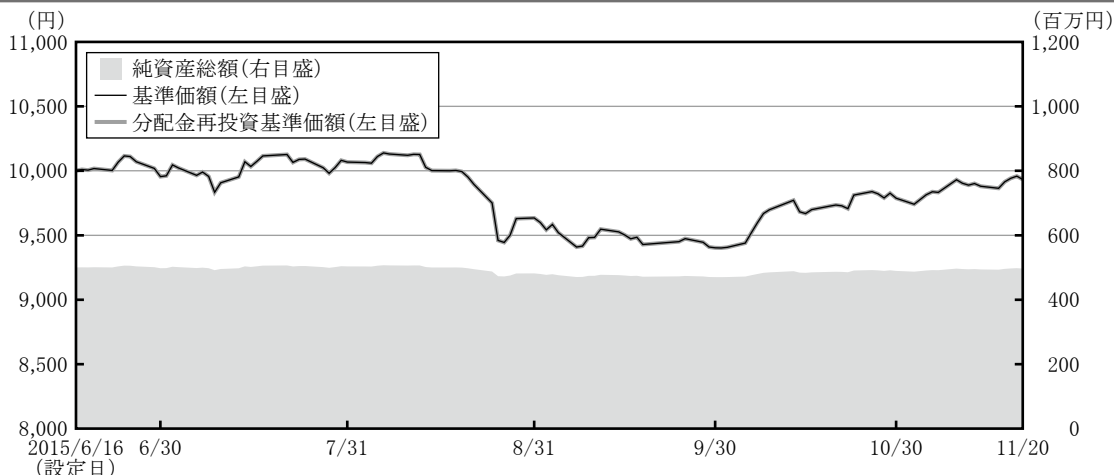
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>
〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

(毎月決算型)

当作成期中の基準価額等の推移について(第1期～第5期:2015年6月16日から2015年11月20日まで)



設定日	10,000円
第5期末	9,933円(既払分配金0円)
騰落率	△0.7%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

(注4) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

基準価額の主な変動要因

設定当初から2015年8月上旬にかけてはアジアの現地通貨建て債券および米ドル建て債券は、軟調ながら小動きとなったためファンドの基準価額はほぼ横ばいでの推移となりました。8月11日、中国の人民元の実質的な切り下げをきっかけにリスク回避姿勢が強まり、現地通貨建て債券および米ドル建て債券は下落(利回りは上昇)、為替市場でも対米ドル、対アジア通貨で円高となったことから基準価額は下落しました。10月に入り米国の利上げ先送り観測や欧州中央銀行(ECB)の追加緩和期待、中国の利下げ実施などを背景に投資家心理が好転し、債券価格の上昇、加えてアジア通貨が対円で上昇したことから基準価額は持ち直しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第1期～第5期 2015/6/16 ～2015/11/20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	70円	0.718%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、9,769円です。
(投信会社)	(34)	(0.350)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(34)	(0.350)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	23	0.232	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.208)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(2)	(0.016)	インカムゲイン税及び信託管理事務にかかる手数料等
合計	93	0.950	

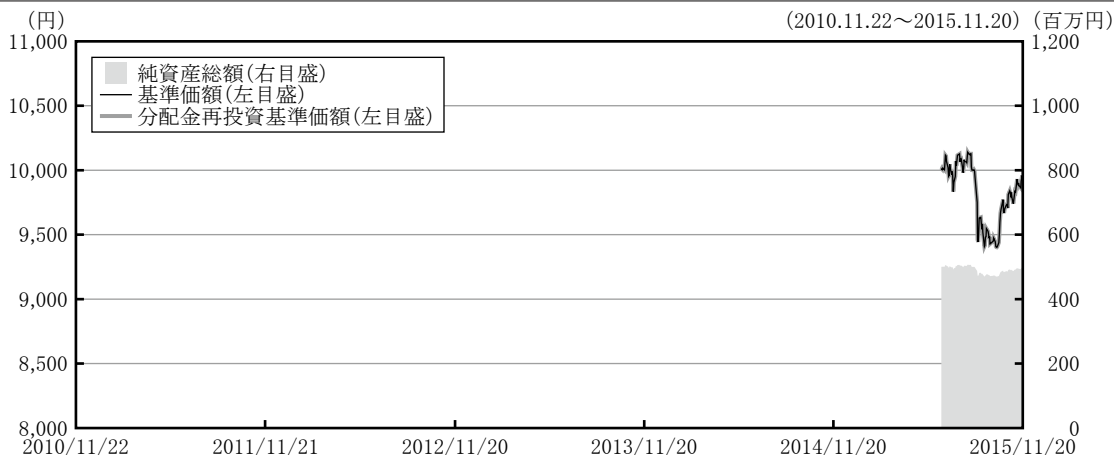
(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

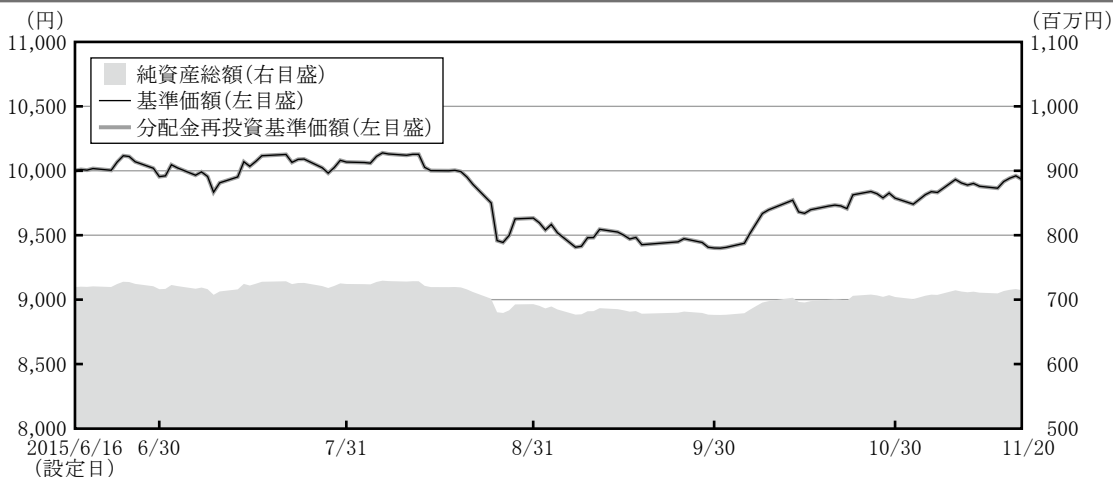
決算日		2015/6/16(設定日)	2015/11/20
基準価額	(円)	10,000	9,933
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△0.7
純資産総額	(百万円)	500	496

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

運用経過

(年2回決算型)

当期中の基準価額等の推移について(第1期:2015年6月16日から2015年11月20日まで)



設定日	10,000円
第1期末	9,934円(既払分配金0円)
騰落率	△0.7%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

(注4) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

基準価額の主な変動要因

設定当初から2015年8月上旬にかけてはアジアの現地通貨建て債券および米ドル建て債券は、軟調ながら小動きとなったためファンドの基準価額はほぼ横ばいでの推移となりました。8月11日、中国の人民元の実質的な切り下げをきっかけにリスク回避姿勢が強まり、現地通貨建て債券および米ドル建て債券は下落(利回りは上昇)、為替市場でも対米ドル、対アジア通貨で円高となったことから基準価額は下落しました。10月に入り米国の利上げ先送り観測や欧州中央銀行(ECB)の追加緩和期待、中国の利下げ実施などを背景に投資家心理が好転し、債券価格の上昇、加えてアジア通貨が対円で上昇したことから基準価額は持ち直しました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015/6/16 ～2015/11/20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	70円	0.718%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,768円です。
(投信会社)	(34)	(0.350)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(34)	(0.350)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	22	0.230	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.209)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(2)	(0.016)	インカムゲイン税及び信託管理事務にかかる手数料等
合計	92	0.948	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

決算日		2015/6/16(設定日)	2015/11/20
基準価額	(円)	10,000	9,934
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△0.7
純資産総額	(百万円)	719	714

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

投資環境について

○海外債券市況

設定当初から2015年8月上旬まではアジアの現地通貨建て債券および米ドル建て債券は上値の重い展開ながら、小動きとなりました。しかし、8月11日の中国の人民元の実質的な切り下げをきっかけに世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、現地通貨建て債券および米ドル建て債券は下落(利回りは上昇)しました。中でもインドネシアは通貨の大幅下落や国内景気の低迷が嫌気され、現地通貨建て債券、米ドル建て債券ともに下落幅が大きくなりました。

10月になると米国の年内利上げ観測が後退したことやECBの追加緩和期待、中国の利下げ実施などを好感し、投資家のリスク選好度が高まり、アジアの現地通貨建て債券、米ドル建て債券ともに上昇(利回りは低下)しました。インド債券市場は、期初から9月下旬までインフレ率の落ち着きを背景に小幅高となりました。また、9月29日のインド準備銀行(中央銀行、RBI)の0.5%の利下げを受けて債券価格は一段高となりましたが、期末にかけては小幅に下落(利回りは上昇)しました。

○為替市況

当(作成)期は小幅の円高米ドル安となりました。アジア通貨は中国の景気減速懸念や米国の年内利上げ観測から対円、対米ドルともに軟調な動きとなりました。

ポートフォリオについて

○イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

当ファンドはイーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド受益証券およびイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の公益およびインフラ関連の債券に投資を行いました。なお、期中、イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンドのインド現地における外国ポートフォリオ投資家(FPI)制度の資格取得に伴い、組入れていたイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドを解約しました。

○イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド

主として、日本を除くアジア・オセアニア地域の政府、政府機関、企業および国際機関等が発行する現地通貨建てもしくは米ドル建ての公益およびインフラ関連の債券に投資を行いました。また、期中インド現地における外国ポートフォリオ投資家(FPI)制度の資格取得に伴い、ルピー建て債券への投資も開始しました。地域別ではインドと香港の保有などがプラスに寄与した一方で、オーストラリア、インドネシアの保有などがマイナスに作用しました。

○イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

電力・公益セクターや銀行セクターなどを中心に、利回りの面で魅力的なインドルピー建て社債を中心に投資を行いました。また、流動性などを考慮し、一部インド国債も組入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークを設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(毎月決算型)

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2015年6月16日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月20日	2015年8月21日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月20日	2015年10月21日 ～2015年11月20日
当期分配金 (円)	—	—	—	—	—
(対基準価額比率) (%)	—	—	—	—	—
当期の収益 (円)	—	—	—	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	126	155	190	227	273

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

(年2回決算型)

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第1期
	2015年6月16日 ～2015年11月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	163

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド受益証券およびイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を組入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。また、当面はイーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンドの受益証券を中心に投資を行う方針です。

○イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド

今後も米国の利上げや中国の景気先行き不透明感を背景として、アジア通貨に対する下落圧力が高まることも予想されることから、米ドル建て債券の保有を高め維持する方針です。現地通貨建て債券については、引続きインドやインドネシアなどの高利回りの債券の組み入れを積極的に行う方針です。

○イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

引続き相対的に格付の高いインドルピー建て社債を中心に投資を行っていく方針です。また、長期債により投資妙味があるとの見方をしています。安全性や流動性を重視しつつ、機動的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、収益の最大化を目指して運用を行って参ります。

お知らせ

該当事項はありません。

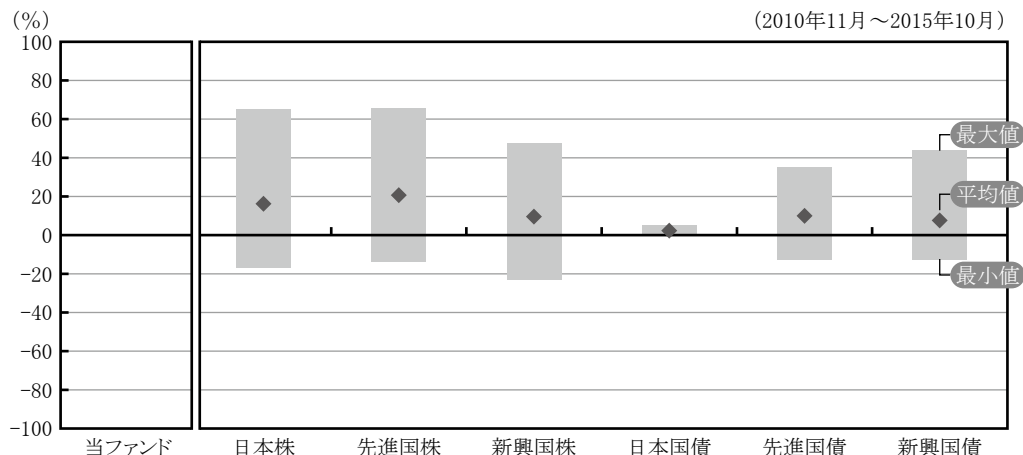
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2015年6月16日から2025年5月20日まで	
運用方針	<p>イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンドおよびイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の政府、政府機関、企業および国際機関等が発行する現地通貨建てもしくは米ドル建ての公益およびインフラ関連の債券(以下、「公益インフラ債券」ということがあります。)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p>	
主要投資対象	イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンドの受益証券およびイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。また、イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンドの受益証券のみに投資する場合があります。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド	日本を除くアジア・オセアニア地域の公益インフラ債券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
投資制限	イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	<p>(毎月決算型)原則として毎月20日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型)原則として、毎年5月20日および11月20日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(毎月決算型)



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-	16.2	20.6	9.6	2.3	10.0	7.6
最大値	-	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-12.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年11月から2015年10月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは設定から1年を経過していないため、ファンドの年間騰落率は記載していません。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

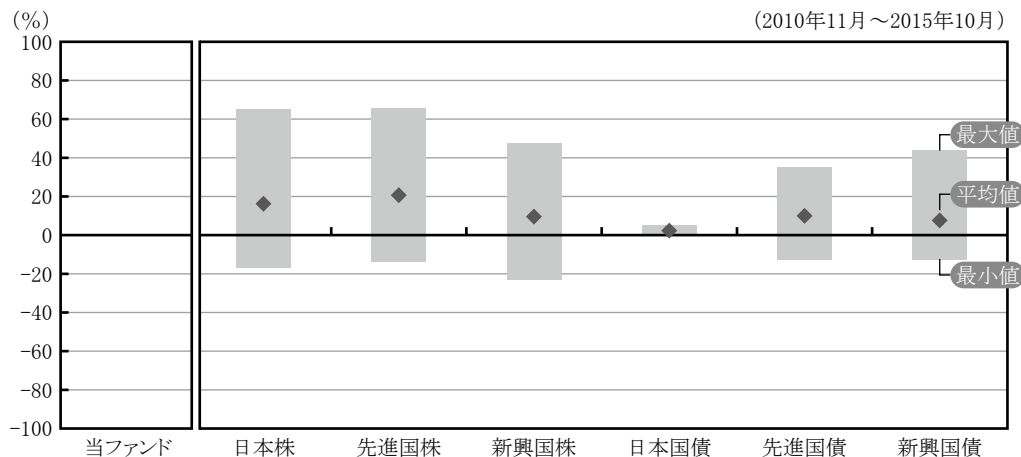
新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(年2回決算型)



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-	16.2	20.6	9.6	2.3	10.0	7.6
最大値	-	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-12.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年11月から2015年10月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは設定から1年を経過していないため、ファンドの年間騰落率は記載していません。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

(毎月決算型)

当ファンドの組入資産の内容

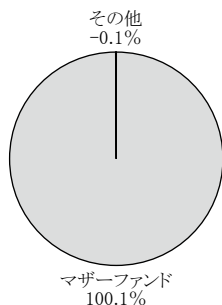
○組入ファンド

(組入銘柄数: 1銘柄)

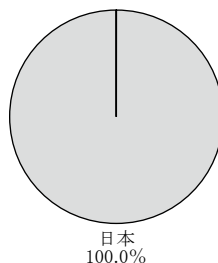
ファンド名	第5期末 2015年11月20日
イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド	100.1%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

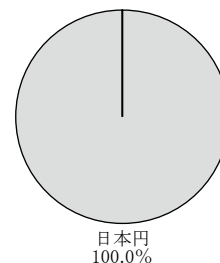
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第1期末 2015年7月21日	第2期末 2015年8月20日	第3期末 2015年9月24日	第4期末 2015年10月20日	第5期末 2015年11月20日
純資産総額	506,314,432円	497,562,879円	472,487,993円	486,696,701円	496,669,746円
受益権総口数	500,000,000口	500,000,000口	500,000,000口	500,000,000口	500,000,000口
1万口当たり基準価額	10,126円	9,951円	9,450円	9,734円	9,933円

* 当作成期中(第1期～第5期)において追加設定元本額は0円、一部解約元本額は0円です。

ファンドデータ

(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

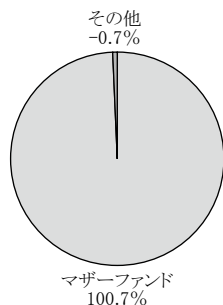
○組入ファンド

(組入銘柄数: 1銘柄)

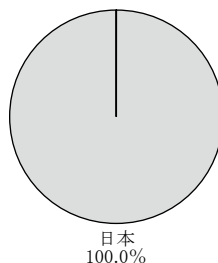
ファンド名	第1期末 2015年11月20日
イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド	100.7%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

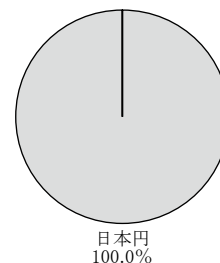
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第1期末 2015年11月20日
純資産総額	714,727,813円
受益権総口数	719,450,000口
1万口当たり基準価額	9,934円

* 当期中において追加設定元本額は0円、一部解約元本額は0円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド

最初の決算日が到来していないため、記載すべき事項はありません。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・ 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- ・ シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。